

誰もが自分らしく生きていける社会に

ゆめっせフェスタ2013

6月15日、田川青少年文化ホールで「ゆめっせフェスタ2013」が開催され、作家で東京家政大学人間文化研究所特任教授の落合恵子さんを講師に招き「いま、共生の時～女と男が共に生きる社会」と題した講演会を行いました。

落合さんは、人権を中心にした男女共同参画や介護、子育て、東日本大震災の被災地への支援などについて、感情豊かな語り口で話し、会場を訪れた約450人の参加者はその話に引き付けられていました。

講演の中で落合さんは「それぞれが自分の色に輝いて生きていきましょう。そして同時にそれぞれの色を混ぜ合わせて、いろんな色をつくっていきましょう」と話しました。



▲「本当の強さとは自分の弱さを知ってこそ」と訴える落合さん

防犯意識を高めよう

田川防犯協会連合会が防犯ブザーを寄贈

6月19日、田川防犯協会連合会（会長＝伊藤信勝市長）が管内の田川市、糸田町、香春町、福智町と赤村の1市3町1村の教育委員会を通じて、小学1年生児童約900人に防犯ブザーを寄贈しました。

防犯ブザーは黄色のハート型で、福岡県警マスコット「ふっけい君」をあしらったもの。下に付いているひもを引くと、大きな警報音が鳴り、周囲に危険を知らせることができます。

この日行われた配布式では、5市町村の教育長に目録と防犯ブザーが渡され、同席した田川警察署生活安全課の安藤金次郎課長は「ブザーの配布は防犯上大変効果がありますので、子どもたちを守るため、有効に活用してほしい」と話しました。



▲市内9小学校の1年生約440人に贈られる防犯ブザー

ペットボトルキャップリサイクル見える化実験

市内の8小中学校で実施

6月25日、ペットボトルキャップリサイクルの「見える化」実験が7月から市内8小中学校で開始されることを記念し、参加校のひとつである鎮西小学校で、専用の回収ボックスや回収用バッグなどの贈呈式が行われました。

この実験は、ペットボトルキャップのリサイクルシステムの確立を目指した取り組みを行っている公益財団法人福岡県リサイクル総合研究事業化センターが、その回収に関する課題整理と環境教育の一環として行っているものです。

代表して挨拶した6年生の木下智聖さんは「全校児童でペットボトルキャップを集めて、世界みんなの力になれるように頑張ります」と話しました。



▲リサイクルでできたプランターなどの説明を聞く児童たち